

福井の幕末・明治まち歩き

幕末・明治 福井の偉人の足跡をめぐる

動乱の幕末時期、外国からの脅威に日本が揺れ動く中、福井藩の偉人たちは世界に目を向け、現代日本の礎を築く働きをしました。日本の行末を案じ、まさに奔走しながら、ここ福井で才能を開花させていきました。

「福井の幕末・明治まち歩き」は、奔走した偉人たちの足跡を辿り、近代日本の発展を福井藩の偉人たちの視点で見るとまち歩きです。

由利 公正



福井藩の財政復興の立役者でもあり、坂本龍馬に明治政府において必要な人物として推薦された由利公正は、その財政手腕によって日本初の官札「太政官札」を発案。「五箇条の御誓文」の草案である「議事之体大意」を起草し、民主的な議会制度の基礎を築きあげました。

松平 春嶽



財政復興・教育改革・軍部増強などに取組み、積極的に藩政改革を推進した藩主。熊本から政治顧問として横井小楠を招致し、下級武士だった由利公正、藩医の橋本左内と、身分の差を超えて実力のある人材を登用、幕府においても要職につき、江戸幕府の改革にも取組みました。

橋本 左内



藩医の家に生まれ、15歳の時に自身を鼓舞する「啓発録」を記すなど若い時から聡明さを発揮。蘭学医の道から、黒船来航以降政治の世界に転身しました。松平春嶽によって藩政に登用され、藩校・明道館の改革、教育推進を成し遂げました。

横井 小楠



熊本藩士の思想家で、学政一致・経世済民を主張し、松平春嶽の招きによって福井藩の政治顧問になりました。由利公正が師と仰ぐ人物で、明道館の顧問として橋本左内と共に教育に尽力。由利公正の「議事之体大意」は、横井小楠の思想的影響を強く受けたとされています。

福井市立郷土歴史博物館蔵

4つのまち歩きコースについて

このパンフレットのまち歩きコースは福井県、福井市、(公財)歴史のみえるまちづくり協会が協働で開催したワークショップにおいて、参加者から出されたアイデアを基に考えたものです。幕末・明治のまち歩きをどう楽しむか、歴史スポットだけでなくオススメのお店なども盛り込んでつくられています。

- ① 幕末の偉人をたずねて
- ③ 北の庄から福井へ。そして幕末偉人に出会う
- ② 歴史初心者・ふくチャリコース～女性にオススメ
- ④ 幕末の福井めぐり～食でたどる歴史と偉人たち

福井城址

①-4 ③-8



福井藩は慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦い以後、越前68万石を与えられた結城秀康が福井城の築城・城下町の形成を行い、明治4年(1871年)に廃藩となるまでの271年間、松平家代々の藩主が守り、受け継いできました。現在でも内堀や一部の外堀、天守台や福の井が残り、藩主が渡った御廊下橋が復原されるなど、その姿を今に伝えています。

主なスポット

養浩館庭園

①-2 ③-12 ②-5



養浩館庭園は、数寄屋造りの建物に回遊式林泉庭園が美しく、国の名勝に指定されています。かつては福井藩主の別邸で、藩主の休養の場や住居、茶会・饗応の席として使われていました。まち歩きの休息にゆっくりお過ごしください。また、隣接する郷土歴史博物館では、福井の古代～近代までの歴史が展示されています。



●開園時間
9:00～19:00(3月1日～11月5日) 入園18:30まで
9:00～17:00(11月6日～2月末日) 入園16:30まで
休園日:年末年始(12月28日～1月4日)
入園料:大人(15歳以上)210円

グリフィス記念館

①-11 ②-8 ④-1



福井藩のお雇い外国人であった米国人教師W.E.グリフィスの居宅を復原しています。和洋折衷の意匠が凝らされた独創的な外観をしており、館内にはグリフィスの功績や郷土の偉人などが展示されています。

●開館時間
10:00～19:00(3月1日～11月30日) 入館18:30まで
10:00～18:00(12月1日～2月末日) 入館17:30まで
休館日:年末年始(12月28日～1月4日) / 入館料:無料

由利公正広場

①-7 ②-7 ④-5



横井小楠に師事し、藩の財政を立て直した由利公正像が立つ広場では、由利公正の福井藩での活躍や由利公正と関係の深い偉人とのつながり他、「五箇条の御誓文」の草案となった「議事之体大意」の紹介パネルがあり、由利公正の功績を知ることができます。



【発行元】

福井市

おもてなし観光推進課
TEL.0776-20-5346

総合政策課
TEL.0776-20-5283

〒910-8511 福井県福井市大手3丁目10-1

幕末の偉人をたずねて

幕末のイケメン探しとおいしい福井を楽しもう

てくてく歩いて福井のイケメン藩士を尋ねながら、おいしい福井を楽しめます。福井が世界に誇る養浩館庭園を訪れ、福井城址やグリフィス記念館の他、福井の地酒をワンコインで試飲したりと福井の名物も堪能！

① ハピリン
ウェルカムセンター(観光案内所)



② 養浩館庭園



③ とねりもん
舎人門



福井城は堀を幾重かに巡らせ、石垣や土居がさらに防備を固めていました。舎人門は、福井城の外堀北側を守る門で、幅10m高さ6mの大きさで復原されました。屋根瓦は、出土品をモデルに当時越前でつくられていた越前赤瓦を復原して葺かれています。門の周辺には城の上水道であった「芝原上水」の遺構もあります。



④ 福井城址



⑤ ガレリア元町

ガレリア元町商店街は、福井市の「歴史の道」でもあり、アーケードの柱には福井の偉人の紹介パネルも展示されています。



⑥ 仁平寿司



昭和13年(1938年)創業。北の庄通りに面するお寿司屋。手頃な価格でお昼のセットメニューも充実しており、ランチにオススメです。

営:11:00~22:00/休:月曜
TEL:0776-22-1888



⑦ 由利公正広場



⑧ 由利公正宅跡

足羽川にあった由利公正宅跡の石碑。現在の河川敷のところにあったとされていますが、明治33年~44年にかけての河川工事によってその姿は見られません。宅跡のあるあたりは「毛矢侍」と呼ばれる下級武士が住んでいた地域で、由利公正は、この地から福井藩の重要な家臣として出世していきました。



⑨ 日下部太郎・グリフィス像

日下部太郎は福井藩第1号の海外留学生としてアメリカに渡り、グリフィスのいる大学で学んでいたところ、卒業間際に亡くなりました。グリフィスは日下部太郎の勤勉さに心を動かされ、太郎との友情に報いるため、後に福井藩のお雇い外国人として近代科学を教え、福井の科学教育の礎を築きました。



⑩ 異人館跡

明治初年(1868年)、福井藩の明新館で科学を教えていたグリフィスが住んでいた「異人館」はこの石碑が立っているところにあり、福井藩では初めての洋館の建築でした。付近にはイギリスから来日していた教師の館もあり、共に異人館の名で呼ばれていました。



⑪ グリフィス記念館



⑫ 羽二重餅總本舗 松岡軒



明治38年(1905年)創業。福井の定番和菓子「羽二重餅」の元祖。夏はかき氷がおすすめ。店内で食べられますので、まち歩きの休憩に。

営:9:00~17:30
休:無休
TEL:0776-22-4400



⑬ 浜町安文酒店



約100年前に創業。福井の地酒が豊富に揃い、ワンコイン(500円)でオススメの地酒3種の試飲もできます。

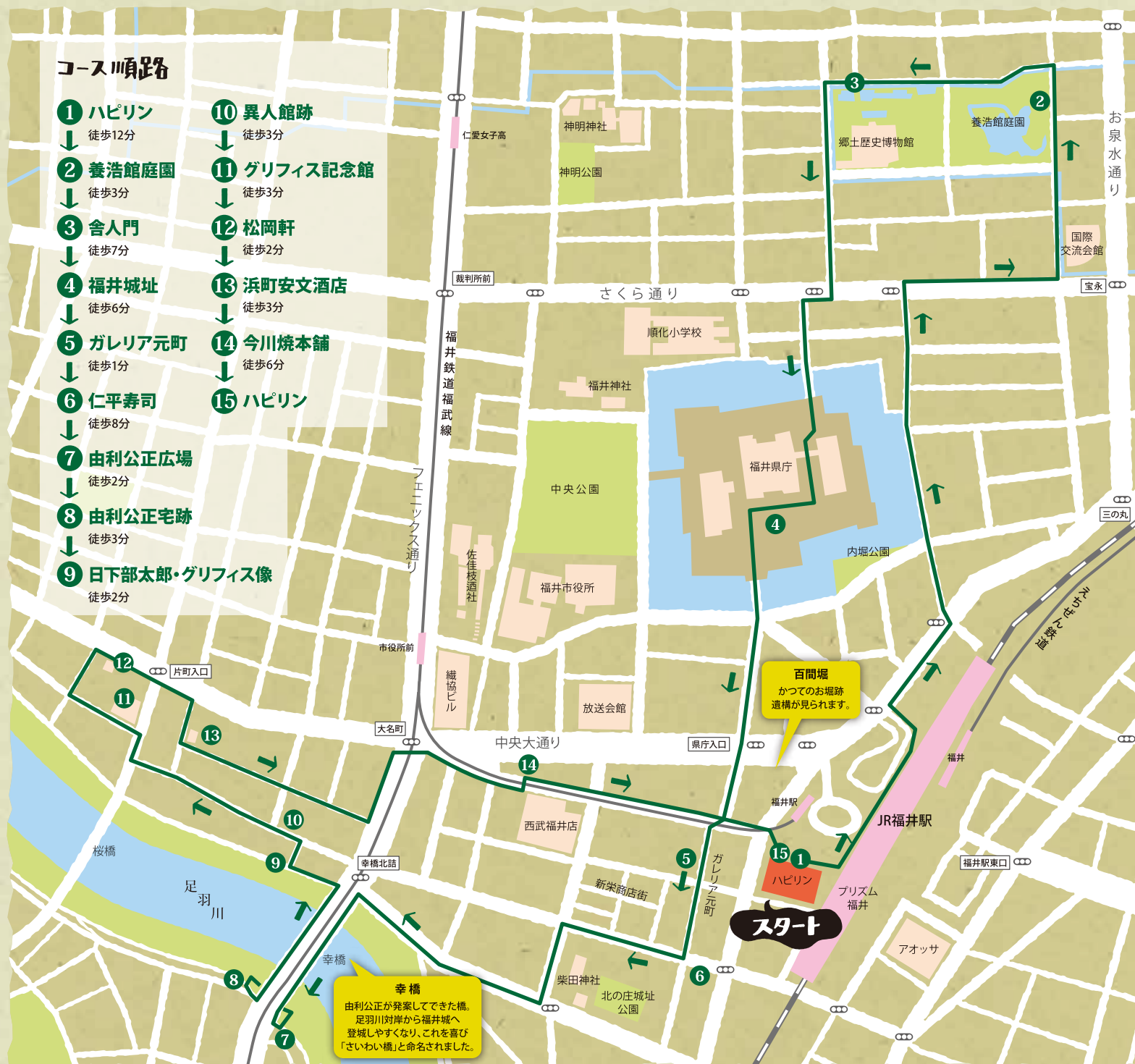
営:11:00~18:00
休:不定休
TEL:0776-21-4632



⑭ 今川焼本舗

昭和24年(1949年)開業。自家製生地につぶあんの他、カレー、チョコなどの具もある昔ながらの今川焼です。

営:9:30~21:00/休:不定休
TEL:0776-22-0998



コース順路

① ハピリン

↓ 徒歩12分

② 養浩館庭園

↓ 徒歩3分

③ 舎人門

↓ 徒歩7分

④ 福井城址

↓ 徒歩6分

⑤ ガレリア元町

↓ 徒歩1分

⑥ 仁平寿司

↓ 徒歩8分

⑦ 由利公正広場

↓ 徒歩2分

⑧ 由利公正宅跡

↓ 徒歩3分

⑨ 日下部太郎・グリフィス像

↓ 徒歩2分

⑩ 異人館跡

↓ 徒歩3分

⑪ グリフィス記念館

↓ 徒歩3分

⑫ 松岡軒

↓ 徒歩2分

⑬ 浜町安文酒店

↓ 徒歩3分

⑭ 今川焼本舗

↓ 徒歩6分

⑮ ハピリン

幸橋
由利公正が発案してできた橋。足羽川対岸から福井城へ登城しやすくなり、これ喜び「さいわい橋」と命名されました。

百間堀
かつてのお堀跡遺構が見られます。

スタート

3 北の庄から福井へ。そして幕末偉人に出会う

福井早わかり！まちなかの幕末に出会おう！

北の庄城址から福井城址・養浩館庭園へ北上しながら幕末・明治の様子と、幕末偉人に重点を置いて案内します。

① ハピリン
ウェルカムセンター(観光案内所)



② ガレリア元町



③ 北の庄通り



北の庄城址や柴田神社の鳥居に面した通りで、飲食店や服飾店などが並ぶ商店街です。



④ 北の庄城址



天正3年(1575年)に柴田勝家が政治拠点として建築した、北の庄城の本丸であったと伝えられています。北の庄城址資料館では、勝家公による今の福井の基礎となった城下町づくりや歴史を知ることができます。



⑤ 新栄商店街



細路地を進むと洋品店やおしゃれなカフェなどがある、昭和の雰囲気を感じるアーケードです。量り売りのチーズ専門店「ハッピーチーズ」やオーガニックカフェ「深緑」など、こだわりのお店が多くあります。



⑥ バーンズ・キッチン



おしゃれな雰囲気の中でゆっくりとランチ。パスタやお肉など、季節によって色々なメニューが楽しめます。

営:10:30~18:30
休:火曜、第1・3水曜
TEL:0776-27-1248

⑦ 明新館跡



福井藩主松平春嶽が安政2年(1855年)に建てた藩校「明道館」が、明治2年(1869年)「明新館」に改称し、この地に移転しました。明道館では、安政4年(1857年)に橋本左内が学監心得(今でいう校長)を務め、藩校改革に手腕を発揮しました。



⑧ 福井城址



⑨ 福井城址天守台

福井藩の初代藩主結城秀康は、慶長6年(1601年)から約6年をかけて北の庄城跡地に福井城を築きました。天守は4層5階(高さ28m)の壮大さで、寛文9年(1669年)の大火で消失した後、再建されることはありませんでしたが、現在では天守台と控天守台の石垣が残り、お堀や福井神社などを一望できます。

⑩ 福井城址搦手門

福井城址北側の門跡で、石垣にわずかな凹みがあるのはかつて門柱が建っていた跡です。大手門は城の正面、敵の防備の要であるのに対し、搦手門は有事の際に藩主が城外に逃れる時の門とされています。



⑪ 郷土歴史博物館



越前松平家伝来の重宝や資料が多数展示されており、福井城本丸の模型や福井の古代から現代までの歴史を詳しく紹介しています。

●開館時間
9:00~19:00(3月1日~11月5日)入館18:30まで
9:00~17:00(11月6日~2月末日)入館16:30まで
休館日:年末年始(12月28日~1月4日)
臨時休館あり
入館料:大人(15歳以上)210円
TEL:0776-21-0489



⑫ 養浩館庭園



⑬ 旅立ちの像



は 歴史初心者・ふくチャリコース 女性にオススメ

自転車であぐらをかいた歴史といやしの小旅行

福井の街中を自転車で手軽にぐるり！歩いていくのはちょっと大変でも自転車なら短時間で回れます。歴史にカフェ、お土産探しと充実のよけぱりプラン。

① ハピリン
ウェルカムセンター(観光案内所)で
ふくチャリレンタル



② 恐竜モニュメント



福井県は日本一の恐竜化石発掘量を誇り、福井の名を冠する「フクイラプトル」「フクイサウルス」「フクイティタン」の3体が実物大で動くモニュメントとして設置されています。福井に来た記念撮影に最適。

③ 旅立ちの像



横井小楠の九州帰郷に同行する由利公正(三岡八郎)の姿を表しています。この旅の目的は長崎での物資販売ルートの開拓で、これが成功し藩財政が大きく改善され、福井藩は幕末の雄藩になったと伝えられています。

④ 福井神社



昭和18年(1943年)に第16代藩主松平春嶽を祀るために創建。境内には松平春嶽の銅像や、摂社の恒道神社には中根雪江や橋本左内など春嶽の側近が祀られています。

⑤ 養浩館庭園

⑥ 路面電車

福井駅から武生駅までを結ぶ福井鉄道の路面電車は、福井の街中の風景の一つです。色々なカラーの電車との出会いが楽しめます。



⑦ 由利公正広場



⑧ グリフィス記念館



⑨ イタリア食堂 ITSUKI



昭和56年(1981年)創業の老舗イタリア料理店。隠れ家的な雰囲気、イタリアンチヤスバゲティランチがおすすめです。

営:11:30~14:30, 17:00~22:00
休:月曜 / TEL:0776-22-1190



⑩ 柴田神社

北の庄城址跡でもある柴田神社は、柴田勝家と戦国時代の絶世の美女といわれたお市の方を祀っています。また、お市の娘の茶々・初・江を祀る三姉妹神社や銅像もあります。お市の方は容姿端麗だけでなく、様々な戦国武将にも愛されていました。その美しさにあやかって、「モテ祈願」というものもあります。

⑪ 食堂&カフェ ココット



北の庄通りにあるココットではランチや手作りデザート・ドリンクもあり、まち歩きの休憩にどうぞ。

営:11:30~21:00 / 金・土11:30~23:00
休:月曜・第3日曜
TEL:0776-25-3302

⑫ ハピリン「福福館」

ゴールのハピリン2階「福福館」には、福井県の伝統工芸や食が販売されているので、お土産をショッピング!



ふくチャリ
貸出ポート
(コース周辺のみ)



ふくチャリHP
QRコード

ふくチャリをレンタル! お問い合わせTEL:080-1951-4019
「ふくチャリ」はまちなかの観光に最適な電動アシスト自転車のレンタルサイクルで、ホテルや観光案内所などの貸出ポートでレンタルできます。また、レンタルした貸出ポート以外のポートでも返却することができます。レンタルのお申し込みは貸出ポートのあるホテルフロントもしくは窓口までお越し下さい。

利用時間:8:00~21:00※
利用料金
4時間以内 200円
1日(~21:00まで) 500円
※施設の閉館時間により異なりますのでレンタルの際にご確認ください。



※自転車は「車両」の仲間です。交通ルールを守りましょう。

に

幕末の福井めぐり〜食でたどる歴史と偉人たち

春嶽・左内・グリフィス・由利・龍馬も食べたかも？

福井の街中には数百年を超える老舗がたくさんあります。幕末・明治期に活躍した偉人も食べたかもしれない…そんな想像をしながら、老舗と歴史巡りを楽しんでみませんか？

① グリフィス記念館



② 異人館跡



③ 横井小楠寄留宅跡



横井小楠は松平春嶽の招きを受けて、4度福井を訪れています。文久3年(1863年)にはこの地に寄留し、藩政を指導していました。足羽川の対岸には由利公正宅跡もあります。



④ 日下部太郎・グリフィス像



⑤ 由利公正広場



⑥ 幸橋の松杭



昭和5年(1930年)に建設された幸橋を70年間支えつづけた松杭で、当時の土木技術の継承と戦前から残る歴史的な遺産として保存されています。



⑦ 坂本龍馬歌碑

この歌碑に刻まれた歌は、坂本龍馬が海軍操練所をつくるための資金を松平春嶽に借り受けることができたときに、横井小楠・由利公正と共に祝杯をあげた際、歌ったといわれています。



⑧ 左内公園

安政6年(1859年)の安政の大獄で亡くなった橋本左内の墓と像があり、左内が15歳の時に自身を激励するためにつくった「啓発録」の石碑があります。



⑨ 橋曙覧生家跡



幕末の歌人・橋曙覧は文化9年(1812年)にこの地で生まれました。国学や歌道に専念し、清貧な生活の中の素朴な楽しみを「独楽吟」の52首に歌っています。足羽山を登る愛宕坂の途中にある「橋曙覧記念文学館」で詳しく知ることができます。

⑩ 生そば 三井屋



天保8年(1837年)創業。福井で一番古いそば屋で、越前おろしそばは昔ながらの太麺で味わえます。
営:11:00~売切れまで/休:水曜
TEL:0776-35-3007



⑪ お茶の金津屋



貞享2年(1685年)創業。日本茶の専門店。品質の良いお茶に定評のあるおいしいお茶屋です。
営:9:00~18:30/休:日曜
TEL:0776-22-1767

⑫ 天たつ

文化元年(1804年)創業。福井藩松平家御用達で、越前の高級珍味「塩雲丹」専門店。店内には松平春嶽の手紙が展示されています。
営:9:00~18:00/日・祝10:00~17:00
休:不定休/TEL:0776-22-1679



⑬ 錦梅堂



弘化4年(1847年)創業。福井藩松平家御用達の和菓子屋。絹織物の羽二重をイメージした和菓子を考案し、藩主に献上していました。
営:8:00~19:00/休:無休
TEL:0776-24-0383

⑭ 親玉菓舗



明治18年(1885年)創業。「碌寶焼」が有名で、生地の外側はカリッと香ばしく、中は柔らかい食感でこしあんの甘みが広がるおいしい和菓子です。
営:9:00~19:00/休:火曜
TEL:0776-23-6353



⑮ 橋本左内生家跡

橋本左内は、福井藩の藩医の長男として天保5年(1834年)にこの地で生まれました。生家跡には、産湯井戸跡と共に石碑が残されています。



⑯ 小大黒屋



慶応元年(1865年)創業。永平寺御用達の和ろうそく専門店。大小様々な和ろうそくや香木、お線香を販売しています。
営:9:00~17:30/休:日曜・祝日
TEL:0776-22-0986



⑰ 彌右衛門



文久2年(1862年)から創業の乾物商。代々彌右衛門を世襲し、昆布や海苔・鯉節などを販売。佃煮やふりかけなどの加工品もあり、お土産にどうぞ。



コース順路

- ① グリフィス記念館 徒歩3分
- ② 異人館跡 徒歩1分
- ③ 横井小楠寄留宅跡 徒歩1分
- ④ 日下部太郎・グリフィス像 徒歩3分
- ⑤ 由利公正広場 徒歩1分
- ⑥ 幸橋の松杭 徒歩30秒
- ⑦ 坂本龍馬歌碑 徒歩5分
- ⑧ 左内公園 徒歩5分
- ⑨ 橋曙覧生家跡 徒歩2分
- ⑩ 生そば 三井屋 徒歩9分
- ⑪ お茶の金津屋 徒歩1分
- ⑫ 天たつ 徒歩30秒
- ⑬ 錦梅堂 徒歩2分
- ⑭ 親玉菓舗 徒歩4分
- ⑮ 橋本左内生家跡 徒歩5分
- ⑯ 小大黒屋 徒歩3分
- ⑰ 彌右衛門 徒歩5分
- ⑱ グリフィス記念館

福井藩十二ヶ月年中絵巻
庶民の暮らしや祭りを描いた
絵巻物パネルと各季節行事の
説明が展示。

たばこや
食屋旅館跡
坂本龍馬が、暗殺される
2週間前に宿泊し、由利公正と
日本の将来を語り合った場所。

旧町名の石碑
通称片町・浜町といわれる
エリアには、魚町や塩町などの
旧町名の石碑が点在。

九十九橋
かつて北側が木造、
南側が石造の半木半石の橋で
柴田勝家が創建。

北国街道
古代から交通・交易の道。

毛矢の縁舟
幸橋が架けられる幕末まで、
両岸に綱を渡した「縁舟」を利用して
往來していました。

運正寺
寛長12年(1607年)創立。
結城秀康の菩提寺。

橋曙覧記念文学館
幕末の歌人・橋曙覧について知れます。

妙経寺
橋本左内の菩提寺。